



SCIEX OS 1.4

リリースノート



本書はSCIEX機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部を複製することは、SCIEXが書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本機器は研究専用です。診断手段としての使用は想定されていません。実験室用診断への使用を推奨します。保証は後述の通りです。

すべての国で販売されているわけではありません。このような使用はいかなる場合も、これらの製造業者による製品をSCIEXの供給機器として扱う場合に限り、その権利やライセンスの使用、またはその他の業者にこれらの製造業者名および製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEXの保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、またSCIEXの唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEXは、制定法若しくは別の形の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されず明示的・黙示的を問わず、いかなる種類の他の保証も行わない。そのすべては明示的に放棄されている。またAB Sciexは購買者による使用、またはそれから生じる逆境が原因の間接的または必然的な損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

研究専用。診断手段としての使用は想定されていません。

AB SciexはSciexブランドの下で事業を行っています。

ここに示されているすべての商標は、AB Sciex Pte. Ltd. またはそれぞれの権利保有者の財産です。

AB SCIEX™ はライセンスの下で使用されています。

© 2018年 AB Sciex



AB Sciex Pte. Ltd.
Blk 33, #04-06
Marsiling Ind Estate Road 3
Woodlands Central Indus. Estate.
シンガポール 739256

内容

1 はじめに.....	4
テクニカルサポート.....	4
お問い合わせ先.....	4
2 強化および修正.....	6
新しい機能バージョン1.4の新機能.....	6
バージョン1.4の解決済みの問題.....	8
3 使用上の注意と既知の問題.....	10
使用上の注意.....	10
一般的な問題.....	11
装置に関する問題.....	12
MSメソッドに関する問題.....	14
取得における問題.....	16
分析における問題.....	21
Explorerに関する問題.....	26
MS TuneIに関する問題.....	28
ソフトウェアのインストールやアクティベーションにおける問題.....	29
MS FW Updaterに関する問題.....	30

ご利用のシステムのOSとして、SCIEXをお選びいただきありがとうございます。SCIEX OS 1.4は、液体クロマトグラフィーおよび飛行時間型質量分析機能を提供するSCIEX X500R QTOFとSCIEX X500B QTOFシステム両方にお使いいただけます。SCIEX OS 1.4では、トリプル四重極、QTRAP[®]、およびAnalystやAnalyst TFソフトウェアを操作するTripleTOF[®] Analyst[®]またはAnalyst[®] TFソフトウェアを開始します。

この文書では、ソフトウェアの機能について説明しています。ソフトウェアをご利用になる際の参照用として、このリリースノートを常にお手元に保管してください。

テクニカルサポート

SCIEXおよびその代理店は、十分に訓練を受けた保守/技術専門要員を世界中に配備しています。システムまたは起こり得る技術的問題に関するご質問にお答えします。詳しくは、ウェブサイト (sciex.com) をご覧ください。

お問い合わせ先

SCIEXのサポート

- ・ sciex.com/contact-us
- ・ sciex.com/request-support

お客様のトレーニング

- ・ 北米 : NA.CustomerTraining@sciex.com
- ・ ヨーロッパ : Europe.CustomerTraining@sciex.com
- ・ ヨーロッパおよび北米以外 : sciex.com/educationのお問い合わせ情報を参照してください。

オンライン学習センター

- ・ SCIEXUniversity

サイバーセキュリティ

SCIEX製品の最新のサイバーセキュリティガイダンスについては、sciex.com/productsecurityを参照してください。

本項では、SCIEX OS 1.4の強化と修正について説明します。過去にリリースされたSCIEX OSの強化と修正については、該当するバージョンのソフトウェアに付属するリリースノートを参照してください。

新しい機能バージョン1.4の新機能

- ・ **Analyst®** データのサポート：SCIEX OSでは、Analyst® およびAnalyst® TF ソフトウェアで作成されたデータファイルの開閉や処理が可能です。SCIEX OSでは、トリプル四重極、リニアイオントラップ (LIT)、飛行時間 (TOF) データをサポートします。
- ・ **Windows 10** および **Microsoft Office 2016** 対応
- ・ **21 CFR Part 11** のサポート：SCIEX OSには、下記を含めた21 CFR Part 11サポート機能が搭載されています。
 - ・ 研究と規制要件を満たすための、カスタマイズ可能な管理機能
 - ・ 電子記録の使用における21 CFR Part 11の遵守をサポートする、セキュリティ機能および監査ツール
 - ・ 重要な質量分析機能へのアクセスをフレキシブルかつ効果的に管理する機能
 - ・ 重大なデータとレポートへのアクセスの管理および監査機能
 - ・ Microsoft Windowsセキュリティの管理機能
- ・ ライセンスの強化：
 - ・ SCIEX OSでは、取得用のノードロックライセンスと処理用のサーバーベースのライセンスをご用意しています。
 - ・ SCIEX OSでは取得と処理、定性的処理、定量的処理のためのライセンスをご用意しています。

注：ChemSpider、Bio Tool Kit、21 CFR Part 11などのオプション機能では、追加のライセンスが必要となります。

- ・ 外れ値の自動除去：アッセイ用検量線の作成中、この機能では承認基準外の標準曲線を自動的に削除することで、特に線形範囲や感度の異なる多数の成分での用途において、キャリブレーションに必要な時間を短縮します。
- ・ 標準添加：内蔵された標準添加機能を使うことで、高バックグラウンドでの複雑なサンプル内にある検体やサロゲート標準物質を簡単に利用できない検体を定量化できます。

-
- ・ 付加物と電荷によるピークのグループ分け：非標的ワークフローでは、この機能による付加物の特定とグループ分け、各成分を対象とした荷電種の乗算が可能です。この機能により成分特定に要する時間を短縮でき、結果の信頼性も高まります。
 - ・ 結果表のフィルタリングの強化：結果表の全列のソートとフィルタリングを実施できます。結果表にはフィルタリングされた列の数と適用されたフィルタの数が表示されます。
 - ・ 接点閉：SCIEX OSでは、直接SCIEX OSで制御していない装置に対しても、接点閉で信号を同期できます。接点閉のケーブルに対応する装置のリストについては、**部品および機器ガイド**を参照してください。接点閉の設定については、**装置セットアップガイド**と装置のメーカーから支給された文書を参照してください。接点閉のバッチ設定については、**ソフトウェアユーザーガイド**を参照してください。
 - ・ **SWATH® + IDA**メソッド：SCIEX OSでは、SWATH®とIDAのスキャンを1回の注入で取得できる新しい取得モードをサポートしています。この機能により複雑な行列での成分の同定が可能です。
 - ・ バッチ内の注入量：注入量はバッチで指定できます。SCIEX OSでは、オートサンプラーの全注入範囲に対応しています。
 - ・ データ保存機能の改善：
 - ・ プロジェクト内で最大6つのレベルのデータ整備用サブフォルダを作成できます。
 - ・ ユーザーは、ネットワークドライブ上で処理のためのプロジェクトデータにアクセスできます。
 - ・ **MS Tune**の強化：
 - ・ Quick Status CheckとAdvanced Tuningでは、APCIモードをサポートしています。
 - ・ Quick Status Checkでは、CDSの自動停止と開始を行います。
 - ・ 島津製および**ExionLC™**追加装置のサポート：
 - ・ ExionLC™溶媒選択バルブ
 - ・ ExionLC™マルチプレートサンプラー
 - ・ 島津製2ポジションバルブ
 - ・ 島津製6ポジションバルブ
 - ・ Prominence低圧グラジエント分取（LPGE）システム
 - ・ Nexera LPGE装置
-
- 注：LPGEは、島津製LC-30ADポンプ内にインストールされた、クォータナリポンプとして使用するオプションの吸気バルブです。SCIEX OSに対しては、LPGEとポンプ用ファームウェアバージョン3.21.で試験を実施しています。
-
- ・ 島津製SIL-30ACMP

- ・ 自動キャリブレーションレポートの改善：レポートには以下の情報が含まれます。バッチ名と場所（自動キャリブレーションが適用された場合）、キャリブレーションファイルと場所、詳細な合格・失敗の判定基準、キャリブレーション失敗の理由。なお、失敗した質量とエラーは強調表示されます。
レポートはcsv形式とxps形式でご利用いただけます。

バージョン1.4の解決済みの問題

- ・ イオン参照表の極性を変更してもフィールドが検証されなかった。（ACQ-2186）
- ・ 小数点の記号で、グリッドパラメータしか地域設定文字を使っていなかった。（ACQ-2190）
- ・ Method Editorのグリッドが、サイズ変更によって表示可能な幅を超えた。（ACQ-2243）
- ・ Apply Scan Schedule機能を選択した場合、MRM HRメソッドのTOF MSMSテーブル内でデータを貼り付けると、RTおよびRT Tolerance列が隠れてしまっていた。（ACQ-2521）
- ・ 装置と質量分析装置間で通信エラーがあると、システムエラーが表示された。（ACQ-2663）
- ・ バッチインポートを続行しないというユーザーの選択が無視された。（ACQ-2704/ACQ-2705）
- ・ 貼り付けたデータがバッチグリッドで複製された。（ACQ-2713）
- ・ イオン参照表で2つの数字を変更した後PrecursorおよびFragment列で値を入力すると、イオン参照表にゼロが追加された。
PrecursorまたはFragmentの小数部分を強調表示してから入力を開始すると、2番目の数値はゼロとして入力された。（ACQ-2832）
- ・ MS Tune仕様書がServiceインストール仕様と一致するように改訂された。以前のMS Tune仕様書では制約が多すぎてMS Tuneの手順が実施できなかった。（ACQ-3329/ACQ-3330）
- ・ MS Methodワークスペースをリフレッシュしたときにしかリアルタイムのサンプル情報が更新されなかった。（MSCS-968）
- ・ 待ち行列内のキャリブレーションサンプルが途中終了しても、CDSポンプは引き続き動作していた。（MSCS-1145）
- ・ 装置リストに切替バルブが含まれている場合、2番目の手順を含まないメソッドを使ってデータを取得しようとするると停止してしまっていた。（MSCS-1284）
- ・ ユーザーがSCIEX X500 QTOFシステムを健全なステータスで起動すると、Eventログに「Expected Firmware Version for the ICB interface」というエラーが表示された。（MSCS-1381）
- ・ コピーしたコンポーネントリストを貼り付ける前にProcessing Method EditorにあるComponentsテーブルのヘッダー行をクリックすると、エラーメッセージが表示された。（MQ-3115）
- ・ **Formula**が定義されていない状態で、QualitativeスキャンにDefault Extraction Widthが使用された。（MQ-4213）
- ・ 数回フィルタリングやソートを実施した後、**Used**列が選択できなくなった。（MQ-3275）

- ・ CDS (Calibrant Delivery System) をDirect Controlから開始して、分析サンプルで待ち行列を開始した後、CDSが停止しなかった。(ONYX-1428)
- ・ データファイルが破損していてバッチを送信できない旨のエラーメッセージが表示された。(ONYX-1539)
- ・ AgilentLC : メソッド内の装置の設定が使用中の装置の設定と一致しない場合、エラーが発生した。(ONYX-2652)

使用上の注意

注：括弧内の数値は、SCIEX内部追跡システムにおける問題を特定するための参照番号です。

- ・ 多数のワークスペースが開いている場合や、多数の移行が処理されている場合は、システム動作が遅くなる場合があります。（ONYX-2321）
- ・ Configurationワークスペースが開くまで時間がかかります。（ONYX-3015）
- ・ Microsoft Windows 10のOSで設定されているシステム上では、取得や処理業務が同時に集中して実施されている場合、システムが応答しなくなる場合があります。システム上のバックグラウンドのアプリケーションをオフにして、マルウェア対策サービスの設定を「Low」にすることを推奨します。（ONYX-3517）
- ・ バッチが開始されると、SCIEX OSではMicrosoft Windows Updates、Windows Defender virus scans（Microsoft Windows 10の場合）、Symantec Endpoint virus scans（Microsoft Windows 7の場合）のインストールを中止します。データを取得しない時に更新やウィルスのスキャンングを実施するように、スケジュールを設定してください。
- ・ Windowsの更新を行う際は、オプションの更新をインストールしないでください。それらはソフトウェアの機能に影響を与える恐れがあります。必要な更新だけをインストールしてください。システムでデータを取得しない時に更新をインストールするように、スケジュールを設定してください。
- ・ SCIEX OS 1.4で作成したデータファイルは、SCIEX OS 1.3.1またはそれ以前のバージョンで取得したデータファイルに付加できません。（DS-1931）
- ・ SCIEX OS 1.4で作成または保存された取得メソッド、バッチファイル、データファイル、処理メソッド、結果表、QセッションはSCIEX OS 1.3.1またはそれ以前のバージョンでは開けません。（MQ-2321）
- ・ パフォーマンスの問題やデータの破損を防止するため、サンプル取得中にはデフラグやディスククリーンアップなど、コンピュータのメンテナンス手順を実行しないでください。
- ・ 現在選択されたプロジェクトを読み取る権限がない場合、SCIEX OSを開こうとするとエラーが発生することがあります。（ONYX-3131）
- ・ Explorerへのアクセス権がない場合、Queueワークスペースからのキャリブレーションレポートを開くことができません。（ONYX-3401）

- ・ 現在の監査マップテンプレートがワークステーションに適用されていても、**Apply to Workstation**ボタンがオンになりません。現在ワークステーションに適用されている監査マップテンプレートを特定するには、Audit Trailを表示します。(ONYX-3400)
- ・ **Create report and save**コマンドで結果表のレポートを作成する場合、印刷およびエクスポート用と保存用の2つのイベントが監査証跡に書き込まれます。(ONYX-3319)
- ・ バッチでLCメソッドを変更する場合、新しいLCメソッドからの値では注入量が更新されません。注入量の値を削除してから、新しいLCメソッドを再度選択してください。(ONYX-2966)
- ・ SCIEX OSの前バージョンで作成されたバッチを開く場合、**Injection Volume**フィールドは自動入力されません。バッチ内の各**LC Method**をクリックしてください。(ONYX-2967)

一般的な問題

問題	説明
英語以外の言語に設定されたコンピュータにSCIEX OSをインストールすると、最初にSCIEX OSを開く時にエラーが表示される。(BLT-892)	再度SCIEX OSを開きます。
サンプル取得中にSCIEX OSが閉じると、SCIEX OSを開けなくなる。現在SCIEX OSが開いている旨のメッセージが表示される。(ACQ-3088/ONYX-2851)	OK をクリックしてダイアログを閉じてから、再度SCIEX OSを開きます。
Agilent LC : サンプルバイアルが欠落している場合、キューは停止してLCエラーが発生する。キューを再開すると、後のサンプルのステータスが「Failed」になる。(ACQ-2936)	Agilentシステムでは、バイアル紛失時に続行するオプションは機能しません。バイアルがすべて存在するか確認します。
MSメソッドを開くと、 Print ボタンが無効化されている。(ACQ-3301)	メソッドを閉じてから再び開きます。
削除されたプログラムの正しいステータスは、サービスパッケージを2回生成した後にも、サービスパッケージに正しく表示される。(ACQ-2516)	問題を回避するには、プログラムを削除した後でサービスパッケージを2回生成します。

使用上の注意と既知の問題

問題	説明
Setup.exeを使ってSCIEX OS 1.3以降を削除しようとしてもできない。 (ONYX-2124)	Setup.exeを使ってSCIEX OS 1.3以降を削除しようとすると、Windowsのプログラムと機能からSCIEX OSのエントリが削除されます。ただし、プログラムは残っているため、開くことができます。SCIEX OSを削除するには、SCIEX OSフォルダからSetup.exeを実行して、画面上の指示に従ってソフトウェアをインストールします。このプロセスによりSCIEX OSのエントリが、Windowsのプログラムと機能のリストに戻ります。プログラムと機能のリストを使って、SCIEX OS 1.3以降を削除します。
MultiQuant™ソフトウェアのメソッドが、SCIEX OSの Process Methods > Open から開かれている場合、または Edit がクリックされたのが、MultiQuant™ソフトウェアのメソッドを Results > New > Select Sample から参照した後の場合、メソッドのバージョンはサポートされていない旨を伝えるエラーメッセージが表示される。(MQ-4596)	SCIEX OSがAnalyst®ソフトウェアと同じコンピュータにインストールされている場合、エラーメッセージが表示されます。

装置に関する問題

問題	説明
複数のサンプルを処理した後、元の圧力に戻す前に圧カグラフに0まで降下した圧力が短い時間だけが表示される。 (ACQ-2043)	注入ループが流路に切り替えられると、圧力が降下します。注入ループを切り替えるたびに圧力が降下しないように、5秒ごとに圧力のサンプルを採取します。この問題による性能への影響はありません。
Agilent LC : オートサンプラーでハイスループット設定がサポートされない。 (ACQ-529)	ハイスループット設定は現在サポートされていません。

問題	説明
Shimadzu LC : 機器の復旧中に、不正確な機器ステータスが表示される。 (ACQ-1410)	サンプルの提出前に従属機器をオフにした場合、Shimadzu LCのステータスはFault にならなければいけないものの、実際にはStandby 状態になります。ユーザーがバッチをキューに再度送信しようとする、最初のサンプルは送信されますが、LCがFault 状態になるため送信はただちに失敗し、測定も失敗します。この問題が発生した場合は、コンピュータをリセットし、ソフトウェアを再起動してください。
Shimadzu LC : Direct Controlを通じてエラーを回復しても、機器の信号灯がFault状態から更新されない。(ACQ-1420)	LCがFault状態にあるときにDirect Control用機器を開いて Clear Error をクリックすると、機器は回復しますが、ソフトウェアのステータスはまだ障害と表示されます。このエラーを消去するには、状態パネルの Standby をクリックします。
電源をオンにして接続した機器が、有効な機器のリストにある機器と一致しない場合、LCメソッドが正しく実行されません。(ACQ-1716/2062)	システムを正しく機能させるには、機器の電源をオフまたはオンにして、有効な機器リストの内容と一致させます。
Shimadzu LC : Shimadzu PDAを使用した長いバッチ（サンプリングレート12.5 Hz以上）の実行中に、パフォーマンスの問題が発生する。(ACQ-2037)	バッチの予測される長さが、予想よりも長い可能性があります。問題の発生を回避するには、12.5 Hz未満のサンプリングレートを使用してください。
Shimadzu LC : 2つのUVチャンネルを使用する取得の実行中、反転したUVデータが取得される。(ACQ-2042)	これは、LCメソッドのUV検出器セクションで極性が負に設定されている場合に発生します。問題の発生を回避するには、極性フィールドで正の設定を選択してください。
Agilent LC : 平衡化の最中にサンプルを中断すると、Agilent LCがFault状態に移行することがある。(ACQ-2142)	この問題が発生した場合は、 Standby をクリックして機器を回復してください。
Agilent LC : 従属機器が障害から復旧しReady状態になった後も、Agilent LCでFault状態が表示される。(ACQ-2144)	この問題が発生した場合は、 Standby をクリックしてLCをReady状態に戻してください。
LCメソッドで、LCポンプまたはカラムのオープン温度表のグラジエントテーブルの時間がMSメソッドの時間よりも長い場合、MSメソッドの時間が終了するとLC機器の実行が停止する。(ACQ-2167/2088)	この問題を回避するには、LCメソッド時間の Stop Time フィールドの値が、LCメソッドを実行しなければならない最長時間になっていることを確認してください。

使用上の注意と既知の問題

問題	説明
ShimadzuおよびExionLC LC : LCメソッドへのアクセス方法によって、PDAのデフォルトパラメータが異なる。(ACQ-2176)	問題の発生を回避するには、PDA機器に正しいパラメータが使用されていることを確認してください。
Agilent LC : LCグラジエントグリッドの流量をコピーすると、小数点記号としてのカンマが無視される。(ACQ-2191)	これはAgilent LCの問題です。この問題を回避するには、手動で流量を入力し、カンマを小数点記号として使用してください。
Agilent LC : 機器が有効化の最中にFault状態になっても、そのFault状態が正しく反映されない。(ACQ-2195)	この問題を回避するには、機器の障害をクリアし、Agilent機器を一度無効化してから再度有効化します。
いくつかのケースで、装置が手動で追加できない。(ACQ-3014)	いくつかのケースで、装置が手動で追加される際に、 Test device 機能が動作しません。この問題を回避するには、 Autoconfig を使用して装置を追加します。
取得中にMS通信の切断から回復した後、システムがRun状態のままになる。(MSCS-432)	取得中にEthernetケーブルを取り外した場合は、取得が停止され、システムはFault状態になります。Ethernetケーブルを再接続してから、別の取得を実行しようとする、取得が完了して、リアルタイム表示の更新が止まりますが、システムはRun状態のままになります。これが発生した場合は、機器のプロファイルを再度有効化してください。
CDSなどの従属機器に障害が発生しても、右状態パネルの Standby ボタンがアクティブにならないため、ユーザーがエラーをクリアできなくなる。(MSCS-1314)	この問題が発生した場合は、CDSダイレクトコントロールに移動してから、 Start をクリックしてCDSステータスをFaultからRunningに変更し、CDSの従属機器のFaultステータスをクリアする必要があります。

MSメソッドに関する問題

問題	説明
MRM HRメソッドで、メソッド時間が変更されると保持時間を検証できない。(BLT-961)	メソッドを保存してから閉じ、再び開きます。
MS MethodとLC Methodのワークスペースで、印刷ダイアログが開かない、または開くのが遅い。(ONYX-3412)	印刷ダイアログが開くまで約1分かかります。

問題	説明
Scheduled MRM ^{HR} Generatorワークフローで、デクラスタリング電位や衝突エネルギーのステップをランピングした際にエラーが表示される。(ACQ-3035)	この問題を回避するために、ランピング中にウィンドウを最小化しないでください。
Guided MRM HR機能を使用する際に、作成されたMRM HRメソッドでは初期設定ではApply Scan Scheduleチェックボックスが選択されている。(ACQ-1681)	このオプションが不要な場合は、このメソッドを使用してデータを取得する前に、このチェックボックスの選択を解除してください。
イオン源パラメータが質量分析装置で更新されない。(ACQ-2177)	SWATH [®] およびMRMHRメソッドを使用した手動での取得中は、ユーザーインターフェースでイオン源ガスおよび温度パラメータを編集できます。各フィールドは編集可能になります。ただしその変更は質量分析装置では更新されず、変更内容もそのサンプルのサンプル情報に記録されません。
イオン源またはプローブの変更後にオープンメソッドから別のメソッドに切り替える際、ソフトウェアで必要なパラメータが保存されない。(ACQ-2262)	この問題が発生した場合は、必要に応じてパラメータを更新してください。一部のパラメータは、新しいイオン源またはプローブに必要でない場合、使用不可になります。
Autofill SWATH Windowsダイアログで、1サイクルあたりのウィンドウの最大数について検証メッセージが表示されない。(ACQ-2296)	1回の実験における1サイクルあたりのSWATHウィンドウの最大数は200です。Autofill SWATH Windowsダイアログで選択したオプションの結果、1サイクルあたり200を超えるウィンドウが計算されている場合、サイクルごとのウィンドウ数フィールドの値はNAになります。メソッドは生成できません。この問題を回避するには、Window widthを広げるか、またはPrecursor start mass とPrecursor stop mass との差を小さくして、1サイクルあたりのウィンドウ数を減らします。
キャリブラントを流す際、MS Methodワークスペースが更新されず、正しい情報が表示されない。(ONYX-1556)	ユーザーインターフェースは更新されませんが、パラメータは正しいものが使用され、ファイル情報にも反映されています。

取得における問題

問題	説明
同位体ピークに突発的なノイズやアーチファクトが発生する。(BLT-720)	飽和を回避するために、サンプルを希釈します。
Spectrumモード内でのDADでのデータ取得時にバッチ実行が失敗した。(BLT-978)	バッチの安定性を高めるために、SignalモードでDADを使用します。
プロンプトに対する回答で No を選択してバッチのインポートを取り消した後、違うバッチを付加した場合、以前にインポートされたバッチにも新しいバッチが添付される。(ONYX-2379)	この問題を回避するため、 No をクリックした後に Cancel を選択してから、再びバッチをインポートします。
Agilent LC : SCIEX OS 1.2またはそれ以前のバージョンで作成されたバッチが開いた場合、 Rack code 、 Rack position 、 Plate code などのLC情報が失われる。(DS-2186)	このソフトウェアバージョンでは、これらのフィールドの定義は変更されています。再度入力してください。
下記の一連のイベントの後で例外が発生する。 1. バッチを作成して、保存しないまま送信する。 2. バッチが完了する。 3. 違うプロジェクトに変更する。 4. Batchワークスペースに移動する。 (ACQ-3295)	プロンプトに対して Yes または No をクリックして回答します。

問題	説明
<p>BatchおよびQueue ワークスペースで、PDFFactoryオプションを使用するプリントアウトには以下の問題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PDFFactoryで生成されたレポートに、メソッド名、サンプル名、サンプルID、バーコードなどを示す数値が含まれていない（その名前が番号である場合）。（ONYX-2236） ・ 他の地域の設定が使用されている日時は表示されない。（ACQ-2700） ・ PDFFactoryを使用していくつかの孤立行だけを印刷する場合は、行インデックスが空白になる。（ACQ-2701） ・ バッチ作成時にAuto-Calibrate オプションを選択すると、キャリブレーションサンプル周波数、CDSチャネル、およびバイアル位置（キャリブレーション供給用にLCを選択した場合）の値が欠落する。（ACQ-2804） ・ 横長のXPSおよびPDFFactoryを使用してレポートを印刷すると期待どおり機能するが、縦長のPDFFactoryを使用すると、最初のページにある最後の2列が省略され、バッチ印刷時刻は切り詰められ、完全には表示されない。（ACQ-1275） 	<p>問題を回避するには、PDFFactoryではなく、XPSオプションを使用して印刷します。</p>
<p>Batchワークスペースで、メソッドを別のプロジェクトからコピーすると、使用可能なMSおよびLCメソッドのリストが不完全になる。（ACQ-2127）</p>	<p>この問題が発生した場合は、ソフトウェアを再起動します。</p>
<p>データファイル名がセル内で中央揃えされている場合に、Shift + Tabキーを押して次のセルに移動すると、エラーが表示され、バッチを送信できない。（ACQ-2135）</p>	<p>この問題を回避するには、セル間の移動にTabキーを使用しないでください。セルの内容全体を消去してから、必要なデータファイル名を再度入力してください。</p>
<p>Standbyを選択すると、HarvardシリンジポンプがFault状態になる。（ACQ-2193）</p>	<p>この問題を回避し、エラーを消去するには、Direct Control機能を使用してシリンジを起動します。</p>

使用上の注意と既知の問題

問題	説明
LCがFault状態になった後に、LCを有効化できない。(ACQ-2207)	この問題が発生した場合は、LCのエラーを消去してから、機器を一度無効化してから再度有効化します。
Shimadzu LCの使用時、オートサンプラーのTime プログラムテーブルに注入イベントがあると、システムが注入を実行できない。(ACQ-2242)	この問題を回避するには、オートサンプラーのTime プログラムテーブルに注入イベントを追加しないでください。
時折、質量分析装置がFault状態になり、システムを復旧できなくなることがある。(ACQ-2250)	この問題が発生した場合は、機器を一度無効化してから再度有効化して、 Standby をクリックします。
500を超えるコンポーネントを用いてバッチを作成できる。(ACQ-3073)	SCIEX OSは、最大500のコンポーネントをサポートします。500を超えるコンポーネントをバッチに追加しても、エラーは報告されません。しかし、バッチを閉じてから開いた際にエラーメッセージが表示されます。
UIに表示された列の一部が印刷されない。(ACQ-2611)	以下を実行すると、UIに表示された列の一部がメソッドのプリントアウトに表示されません。 <ol style="list-style-type: none"> MRM HRメソッドを作成する。 スキャンスケジュールを適用する。 拡張パラメータを選択して表示する。 メソッドを保存してから印刷する。 この問題を回避するには、Letter サイズより大きい用紙サイズを選択します。
BatchおよびQueue ワークスペースで、PDFFactoryまたはXPSオプションを使用して印刷すると、最初のページと2ページ目の行の高さが一致しない。(ACQ-2687)	この問題はレポートの内容には影響しません。
負極性でのMRM HR生成中にソフトウェアがCEパラメータを上げた場合、リアルタイムのData Aquisitionパネルにはスペクトルデータが表示されず、X軸スケールが正モードで表示されない。(ACQ-2727)	この問題を回避するために、MRM HRジェネレータを使ってパラメータランプの結果を確認してください。Real Time パネルは使用しないでください。

問題	説明
<p>手動調整では、キャリブレーションサンプルなし（CDSまたはLC自動キャリブレーションなし）でバッチを送信すると、手動のMSメソッド取得によるイオンが最初のサンプルとバッチ内にある後続のすべてのサンプルのサンプル間DBT参照リストとして使用される。手動取得に使用したMSメソッドとバッチで送信したMSメソッドの間で質量範囲、極性などに不一致がある場合は、バッチ内にあるすべてのサンプルの質量精度ドリフトにより、サンプル間キャリブレーションに失敗する。（ACQ-2834）</p>	<p>次のいずれの方法でも問題を回避できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MS Method ワークスペースで手動取得を完了してから、キャリブレーションサンプルなしでバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは予想どおり機能します。バッチ内の最初のサンプルは、後続のサンプルをキャリブレーションする参照リストを生成するために使用されません。 ・ 手動取得中にキャリブレーションサンプルを使用してバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは質量精度ドリフトが観察されずに予想どおり機能します。
<p>以下のステップを実施すると、エラーが発生する：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Auto-Calibrateをクリックして、Batchワークスペースでオートキャリブレーション用のプロパティを設定する。 2. OKをクリックして、Batch - Automatic Calibration Editorダイアログを閉じる。 3. Batchワークスペースを閉じるのを開始するが、次にCancelをクリックする。 4. Auto-Calibrateを再度クリックする。 <p>（ACQ-3016）</p>	<p>Noをクリックしてエラーダイアログを消してから、Newをクリックして新しいバッチを作成します。</p>
<p>取得メソッドおよび処理メソッドからのインポート中に一貫性のない動作が発生し、そのために信頼性の低い評価結果が生成される。（BLT-284）</p>	<p>取得メソッドからインポートされる情報は、小数第2位までの質量精度で示されます。処理メソッドの質量精度の計算に使用される式では、小数第4位までの結果が生成されます。そのため、この2つのメソッドからは一貫性のない結果が提示されることがあります。</p>
<p>DADパネルのリアルタイム更新が、メソッドで選択された応答時間よりも遅いことがある。（DS-853）</p>	<p>この問題を回避するには、DAD取得の頻度を下げるか、取得の完了後にデータを点検します。</p>

使用上の注意と既知の問題

問題	説明
データが正常に取得されても、キューに含まれるサンプルが失敗とマークされることがある。(DS-1016)	取得時の複雑なデータ処理中に、サンプルが正常に取得されて、キューが次のサンプルに移動しても、キュー内のサンプルが失敗としてマークされることがあります。これが発生した場合、サンプルおよびデータファイルは実際には影響を受けておらず、探索や処理に使用できます。キューアイコンを更新するには、SCIEX OSを再起動します。
MRM HRとSWATH [®] メソッド、MRM HRとIDAメソッド、MRM HRメソッドのTOF MSメソッドを使うと取得が中止される。(MSCS-1059)	この問題を回避するには、TOF MS ExperimentをMRM HRメソッドから削除しないでください。
リアルタイムのUVデータ取得中に、XWCグラフとTWCグラフの間でピークのラベル表示が一致しない。(DS-1262)	問題を回避するには、Explorer ワークスペースを使用して取得後のデータを検査します。
Data Acquisition パネルに、以前取得したサンプルが表示される。(DS-1384)	この問題が発生した場合は、ソフトウェアを再起動します。
ソフトウェアが応答を停止した後、CDSが洗浄モードのままになる。(MSCS-666)	この問題が発生した場合は、Direct Control ダイアログでWash Mode オプションの選択を解除します。
ユーザーメッセージにイオン源ガス2の設定が含まれている。(MSCS-943)	APCIプローブの使用時には、イオン源ガス2の設定が特定の値でなければならないというユーザーメッセージが表示されます。ユーザーメッセージに含まれるイオン源ガス2の設定は無視してください。
プローブを切り替えると不正確なメッセージが表示される。(MSCS-972)	このエラーは、取得に影響は与えません。メッセージをキャンセルすれば、取得は続行されます。
データに勾配があると、取得終了前にリアルタイムデータの更新が停止される。(ONYX-1682)	取得時にパラメータに勾配があると、リアルタイムおよび取得後データが一致しません。この問題を回避するには、分析に測定後データを使用します。
IDA測定時に潜在的延長時間がランダムサイクルに追加される。(ONYX-1764)	問題を回避するには、IDAを実行する前に、Google 更新サービス (gupdateとgupdatem) (システムにある場合) および、Windowsバックアップが無効になっていることを確認します。

分析における問題

問題	説明
フィルタリングが不適切に適用され、適切な行が表示されない。(MQ-4823)	Filter By Flagの前にText Filtersが選択された場合、Filter By Flagフィルタは正しく適用されません。必ずFilter By Flagフィルタを最初に選択してください。
Scheduled MRM ^{HR} データがBio Tool Kitで再構成された場合、再構成されたスペクトルが生成されない。(BLT-1006)	スペクトルをテキストファイルにエクスポートしてから、テキストファイルをインポートします。インポートしたスペクトルを再構成します。
UV、DAD、ADCデータ上でAutoPeak積分アルゴリズムを使用した場合、処理前にモデルが構築するのに長い時間がかかる。(MQ-4421)	ピーク形状が良くないUV/DAD/ADCデータに対しては、AutoPeak積分アルゴリズムを使用しないでください。
式を計算する際に、最初の同位体が規定値に設定されるが、Sn（錫）などの一部の成分では、この同位体が最大強度を有する同位体ではない。(MQ-4317)	高次で最大強度の同位体を有する成分を入力する時は、適切な質量を計算するために式の中で最大強度の同位体を指定してください。例えば錫の場合、 ¹²⁰ Snを使ってから式でSn原子数を使用すると、正確な質量が得られます。
Analyst [®] ソフトウェアデータでは、LTスキャンにおいてQ3分解能が最大として報告される。(DS-2220)	Analyst [®] Explorer内のデータを開きます。
結果表の作成時に、リアルタイム更新が遅れることがある。(DS-1042)	取得の実行時や多数のExperimentを含むデータの処理時には、このような遅延が見られる場合があります。問題を回避するには、以下のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> 取得するExperimentの数を減らします。 結果表の作成に使用するExperimentの数を減らします。 結果表の作成とデータの取得を同時に行わないようにします。
CSVでは、図やロゴの含まれるレポートがサポートされない。(MQ-1361)	.csvレポートは、図が含まれない場合のみサポートされます。

使用上の注意と既知の問題

問題	説明
プロジェクトのデフォルトページで1つのアルゴリズムのregression settingsを変更すると、他のアルゴリズムのregression settingsが更新される。(MQ-1376)	Regression settingsフィールドは、選択したアルゴリズムと無関係ではありません。あるアルゴリズムでregression settingsフィールドを変更すると、他のアルゴリズムの対応するフィールドも変更されます。問題を回避するには、アルゴリズムを切り替える際に、アルゴリズムの必要に応じてregression settingsを更新する必要があります。
名前のないライブラリをインポートするとエラーが発生する。(MQ-1379)	この問題を回避するには、ライブラリをインポートする前に、ライブラリに名前を割り当ててください。
グループに含まれる個々のコンポーネントの予測保持時間 (Update Retention Time機能がGroupに設定されている場合) が変更可能で、その結果グループ内の予測保持時間と保持時間ウィンドウが一致しなくなる。(MQ-1511)	Expected RT は、グループ内の各コンポーネントについて手動で変更できます。
ライブラリ検索とFormula Finderのスコアが両方ともゼロかまたは存在しない場合に、合計スコアがゼロ以外の値になる。(MQ-1545)	ソフトウェアではライブラリ検索とFormula Finderのスコアに加え、質量エラー、同位体、および保持時間のスコアを使用して合計スコアが計算されません。これらのスコアを含めない場合は、それぞれの加重をゼロに設定してください。
ライブラリをデータベースに追加またはデータベースから削除しても、保存した結果表が自動的に更新されない。(MQ-1684)	問題の発生を回避するには、更新されたライブラリデータベースに基づいて手動で結果の再処理を行ってください。
ライブラリ検索で、低品質のスペクトルから予想よりも高い純度が報告される。(MQ-1679、MQ-1773)	この問題が発生した場合は、保持時間、ピーク品質、および積分を確認し、化合物が陽性か否かを確認してください。
化合物固有の判定基準を参照できない。(MQ-1822)	現在、ライブラリ検索ではグローバル設定のみが参照可能になっています。
LibraryView Package Builderで作成されたライセンス付きパッケージ用のライセンスがC:\Program Files\AB SCIEX\LibraryView\binに保存されている。(MQ-1847)	LibraryView Package Builder 1.0で作成されたライセンス化パッケージ用のライセンスは、手動でC:\Program Files\SCIEX\LibraryView\LibraryViewFramework\Serverにコピーする必要があります。

問題	説明
<p>ループExperimentまたは複合Experiment使用時、二重で減算されたMS/MSスペクトルがPeak Review パネルに表示される。 (MQ-1848)</p>	<p>これは問題ではなく、ソフトウェアは正常に動作しています。単一のIDA Experimentには単一の減算されたスペクトルが表示されます。</p>
<p>組み込まれたAutoPeakメソッドに含まれる互換性のないコンポーネントが正しく処理されない。(MQ-1873)</p>	<p>既存のAutoPeakメソッドを使用してデータを処理する際、現在選択されているサンプルを使用してモデルを作成するオプションを指定すると、結果表が正しく開きます。ただし、互換性のないコンポーネントは、組み込まれているメソッドに赤いエクスクラメーションマークで示されます。この動作を回避するには、互換性のないコンポーネントをメソッドから削除するか、フラグメント質量の保持時間またはExperiment内容を修正します。</p>
<p>Summation アルゴリズムメソッドに互換性のないコンポーネントが含まれている場合、ソフトウェアが応答を停止する。(MQ-1888)</p>	<p>既存のSummation アルゴリズムメソッドを使用する場合は、このメソッドがデータと完全に適合していないと、ソフトウェアが応答を停止します。この問題が発生した場合は、メソッドを編集して互換性のないコンポーネントを削除してください。</p>
<p>Positive Hit template docxを使用して2500行を超える結果表から保護されたPDFレポートを作成するためにPDFFactoryを使用すると、ソフトウェアが応答しないように見える。(MQ-1896)</p>	<p>レポートの作成には、ある程度時間がかかります。PDFFactoryの進行状況ウィンドウは常にバックグラウンドで表示され、PDFの作成が進行中であることを示します。PDFFactoryの進行状況ウィンドウを表示させるために、SCIEX OSを含むすべてのウィンドウを最小化することができます。</p>
<p>Peak Review ペインが開いていると、一部のクロマトグラムが表示されない。(MQ-2070)</p>	<p>この問題が発生する場合は、結果表のインデックスをクリックします。</p>
<p>画面右上隅の青いXをクリックしてAnalyticsワークスペースを閉じた後に、ワークスペースと結果表を再度開くと、Samples ペインとComponents and Group ペインが更新されない。(MQ-2074)</p>	<p>この問題が発生する場合は、画面内をクリックして、ペインを更新します。</p>

問題	説明
<p>データファイル内の破損した最初のサンプルにより、サンプルの処理が阻止される。(MQ-2118)</p>	<p>データファイル内の最初のサンプルが破損している場合、そのデータファイル内のサンプルは一切処理できず、情報メッセージが表示されます。サンプル取得中にシステムがRun状態になる前に、サンプルが中断されたり取得が失敗したりした場合、そのサンプルは破損することがあります。最初のサンプルについてシステムがRun状態になる前に取得を中断する必要がある場合、そしてそのデータの定量化を行う場合は、バッチを別のデータファイルとして取得してください。破損したサンプルを含むデータファイルを使用して結果表を作成するには、以下の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 破損していないバッチの破損していないサンプルを使用して、結果表を作成します。 2. Process > Add Samplesをクリックします。 3. 最初の破損したサンプルを除く、破損したバッチ内のすべてのサンプルを選択します。 4. OKをクリックします。 破損したバッチが結果表に追加されます。 5. 破損していないサンプルを、Process > Remove Selected Samplesをクリックして、元のバッチから削除します。 6. バッチを通常どおりに処理します。
<p>Method Editor でIS名をコンポーネントテーブルに貼り付けることができない。(MQ-2193)</p>	<p>問題を回避するには、IS名を手動で選択するか、IS列を個別に貼り付けます。</p>
<p>CPUアーキテクチャの異なる別のコンピュータで生成されたAutoPeakの結果は、11桁目に違いがある。(MQ-2316)</p>	<p>結果表ビューはカスタマイズできます。開いている結果表で、More > Results Tables > Display settingsをクリックし、Number Formatフィールドを11未満の値に設定します。値が11以上の場合は、結果の違いがわかります。</p>
<p>システムがデータを取得している間に、ユーザーがデータを処理すると、システムのパフォーマンスに影響する大きな一時ファイルが作成されることがある。(MQ-2382)</p>	<p>同じコンピュータ上でデータを取得して処理中にシステムが応答を停止した場合は、Cドライブにある\Update\Local\Tempファイルを削除します。</p>

問題	説明
<p>変更を加えていなくても、結果表への変更の保存を要求するプロンプトが表示される。(MQ-2400)</p>	<p>qセッションファイルを別のフォルダに移動してから、変更せずに結果表を開閉すると、変更の保存を要求するプロンプトが表示されます。SaveまたはCancelを選択できます。データ分析は影響されません。</p>
<p>無効な方法で結果表を処理して作成できる。(MQ-2431)</p>	<p>問題を回避するには、以前のバージョンのSCIEX OSで作成されたメソッドを開かなければなりません。エラーが修正されない場合は、処理時間が影響を受けることもあります。</p>
<p>展開および折りたたみボタンが正しい順にクリックされない場合、Peak ReviewパネルのXIC、MS、およびMSMSペインの詳細が同期できなくなる。(MQ-2510)</p>	<p>ペインの同期が復帰するまでボタンをクリックします。</p>
<p>ソフトウェアで、X500 QTOFシステム用のQ1スキャンからのデータの定量的処理や定性的処理ができない。(MQ-2790)</p>	<p>X500 QTOFシステムからのQ1データが、Analyticsワークスペースで処理できません。</p>

Explorerに関する問題

問題	説明
<p>IDA+DADデータファイルでDADの等高線図とXWCを同時に生成しようとした際に、SCIEX OSは応答を停止するか、エラーを生成する。この問題が発生するのは、DAD等高線パネルの生成を開始し、バックグラウンドで更新しているときに同時にXWCにアクセスする場合のみである。(BLT-498)</p>	<p>この問題が発生した場合は、次のいずれかの操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まずXWCを生成してから、DAD等高線パネルを生成します。 ・ XWCを生成する前に、等高線パネルの更新が完了するまで待ちます。
<p>取得中にユーザーがデータを検索すると、以下の問題が発生する可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュールされたスキャンのXICおよびBPCが予定時間より前に生成された場合は、リアルタイムデータが取得後のデータと一致しない。(DS-903/DS-1092) ・ ExplorerでMove to next またはMove to previous ボタンを使用してMS Experimentを切り替えて、リアルタイムで生成されるXIC/BPCを表示すると、XIC/BPCペインに1つのポイントだけが表示される。 	<p>この問題を回避するには、以下の手順に従います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ File > Show XICを使用して必要なExperimentのXICを生成します。 ・ 取得後のXIC/BPCを生成します。 ・ XICペインを閉じて再度開きます。
<p>データ取得パネルのMSタブとDADタブに表示されるリアルタイムのデータスペクトルの更新は、Explorerワークスペースよりも遅くなる場合がある。(DS-934)</p> <p>MSおよびDAD取得パネルとExplorerワークスペースのリアルタイムグラフの不一致は、LCメソッドの持続時間がMSメソッドよりも長い場合に発生する。このシナリオでは、UV、DAD、またはADCチャンネルがLCメソッド取得時間の終わりまでExplorerワークスペースでリアルタイム更新され続けても、MSメソッド持続時間の終わりにMSおよびDAD取得パネルの更新が停止する。(DS-852)</p>	<p>X軸（検出器の電圧）のラベルが不正確になります。問題を回避するには、Detector Optimization Report またはData Acquisition パネルを使用して、検出器の最適化プロセス中に取得したデータを検査します。</p>

問題	説明
Explorerワークスペースで、Detector Optimizationデータが正しく表示されない。(DS-1044)	ソフトウェアでエラーが発生しても、サンプルはすべて開かれます。破損したサンプルは、バッチから削除できます。
測定中にランプパラメータが付いた測定メソッドからのデータが表示されると、データが更新されなくなり、結果のスペクトルが正しくなくなる。(DS-1959)	測定が完了するまで、ランプパラメータを含む測定メソッドのデータを表示させないでください。
サンプルがMSメソッドのワークスペースで初めて取得された時や、新しく取得されたサンプルがExplorerワークスペースで開かれた時に、「This sample is corrupted」というメッセージが断続的に表示される。(DS-2281)	OK をクリックして、メッセージを認識します。サンプルは通常どおり処理できます。
IDAエクスペローラおよびサーベイスキャンスペクトルに、不正確なプリカーサーの電荷が表示されることがある。(MSCS-1117)	この問題は、IDA測定時の意思決定に影響しません。
XICのハイライト表示された領域からスペクトルを生成できない。(ONYX-1882)	<p>以下の操作を行うと、エラーメッセージが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Explorerワークスペースにある別のペインで2つのファイルを開いて、各ファイルのXICグラフを生成する。 2. 単一ペインでXICグラフを結合する。 3. XICペインで領域をハイライトし、ダブルクリックしてスペクトルを生成する。 4. Process All Overlays? ダイアログが表示されたら、All Overlaidをクリックしてから、OKをクリックする。 スペクトルの代わりに、Incorrect Argument - invalid cycle range というエラーメッセージが表示されます。 <p>問題を回避するには、グラフが重なっているより狭い領域を選択します。</p>

問題	説明
Explorerワークスペースで大量のデータまたは複数のデータファイルを処理すると、ユーザーインターフェースが応答を停止し、サンプルキューが次のサンプルに移動するまでに遅延が生じることがある。(ONYX-2047/DS-1688)	この問題が発生した場合は、Explorerワークスペースで処理が完了するのを待つか、データ取得中に大量のデータを処理しないようにします。
Explorerワークスペースで、XICトレースの番号ラベルがまぎらわしい。(PV-1009)	表示される値は、ピークのセントロイド値を表示しているため正確です（ピークをより見やすく表示するには、 Fill Peaks ボタンを使用します）。その位置に関わらず、ピークラベルは対象のピークの最高点に配置されます。そのため、ラベルの位置が誤っているように見えることがありますが、値は正確です。 この問題が起こり始めた場合は、取得が完了するまで待ってから、データの探索を行ってください。

MS Tuneに関する問題

問題	説明
取得メソッドが開いている時、サンプルがキューで待機中、および取得中でも装置の設定を復元できる。(ACQ-3274)	この問題を回避するために、取得メソッドが開いている時、サンプルがキューで待機中、および取得中には装置の設定を復元しないでください。
ワークスペース外に移動した後も、MS Tuneの取得イベントが続行される。(ACQ-2113)	この問題が発生した場合は、Queueワークスペースからの取得を停止してください。
Q1センター質量を選択しても、それに応じてリアルタイムスペクトルの質量範囲が更新されない。(DS-915)	この問題を回避するには、開始および停止質量を、Q1センター質量の範囲をカバーするように設定します。
マニュアルチューニング中、 Save Settings をクリックしても最適化されたパラメータ値がファイルに保存されない。(ACQ-2519)	マニュアルチューニング中は、最適化されたパラメータ値が保存されません。問題を回避するには、マニュアルチューニングモードでチューニング手順をすべて完了します。

ソフトウェアのインストールやアクティベーションにおける問題

問題	説明
SCIEX OSをアンインストールできない。 (BLT-1024)	SCIEX OSをアンインストールできない場合は、Microsoft .NET 2.0が起動しているか確認します。詳細はMicrosoft Helpを参照してください。
ChemSpiderのライセンスが失効した後、新しいライセンスをインストールしてChemSpiderセッションを開始しようとすると、ChemSpiderのライセンスがないという警告メッセージが表示される。 (BLT-985)	SCIEX OSを閉じてから再度開き、それからChemSpiderを再開します。
ソフトウェア1.4バージョンから1.3バージョンにダウングレードすると、Batch、Queue、Userワークスペースがなくなっている。(OFX-489)	<p>SCIEX OS 1.3インストールのバックアップがない場合、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SCIEX OS 1.4を削除します。 2. LibraryView™ Frameworkを削除します。 3. 「C:\Program Data\SCIEX\」フォルダの名前を変更します。 4. 「C:\Program Files\SCIEX\」フォルダの名前を変更します。 5. 「D:\SCIEX OS Data\」フォルダの名前を変更します。 6. SCIEX OS 1.3をインストールします。 <p>SCIEX OSの再設定と、全メソッド、設定、ユーザーなどの再作成が必要です。</p>

問題	説明
SQLサーバーやSCIEX OS LibraryView™ Frameworkに関連する問題が生じ、SCIEX OSをインストールできないことがある。(ONYX-2987)	<p>この問題が発生した場合は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. LibraryView™ソフトウェアを削除します（インストールされている場合）。 2. LibraryView™ Frameworkを削除します（インストールされている場合）。 3. Microsoft SQL Server 2008の全コンポーネントを削除します。 4. コンピュータをシャットダウンしてから再起動します。 5. SCIEX OSをインストールします。 <p>それでもインストールできないときは、C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL10_50.SQLEXPRESS\MSSQL\DATAフォルダからLibraryView.mdfファイルとLibraryView_log.mdfファイルを削除しなければならない場合があります。</p> <hr/> <p>注：ライブラリはmdfファイルに保存されているため、これらのファイルを削除すると既存のライブラリも削除されるため、再インストールが必要となります。</p>
不正確なユーザーアカウントが使用されている場合、SCIEX OSをインストールできない。(BLT-340)	この問題が発生した場合は、 sciex.com/request-support にお問い合わせください。ソフトウェアのインストールや削除は、必ず管理者が実行する必要があります。
Installation Wizardの複数のインスタンスが開いている場合、SCIEX OSをインストールできない。(BLT-341)	SCIEX OSのインストールウィザードを2つ開いて、2番目のインストールを続行しようとする（1つ目を閉じたかどうかに関わらず）、インストールは失敗します。この問題を回避するには、必ずInstallation Wizardを1つだけ開いて、インストールを続行してください。

MS FW Updaterに関する問題

問題	説明
MSFW UpdaterユーティリティがDVDから実行できない。(BLT-597)	質量分析装置のファームウェアを更新するには、FirmwareUpdaterフォルダをD:\ドライブにコピーし、その場所からユーティリティを実行します。